

迎春

水源

第67号

西岡地区町内会連合会

2024 1

2024 謹賀新年

西岡地区町内会連合会
会長 沼田泰昌

皆さまにおかれましては、新しい年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より西岡地区町内会連合会の活動にご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、地球温暖化の影響により記録的な猛暑の年でした。今年も異常気象になるかどうか心配です。

コロナもやっと5類に分類され日常が戻りつつありますが、新年早々、令和6年能登半島地震で震度7の壊滅的な被害があり暗い一年の始まりでした。建物の倒壊・火災・津波等、様々な被災で住民が避難している報道では胸が痛みます。

昨年、西岡地区町連でも、防災に関する知識や意識を高めるため、西岡北小学校で豊平区防災訓練を行いました。今思えば、地震災害に関する訓練の重要性が思い知らされます。

さて、今年の西岡町連の行事として、「西岡まちの灯り」と「にしおか地区まつり」を札幌大学、西岡商工振興会、西岡町連の三位一体で、地域の力を結集した事業を行いたいと思えます。多くの皆さまのご参加よろしくお願いたします。

年頭にあたり皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。

年頭挨拶

西岡まちづくりセンター
所長 青田 直子

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

長きにわたるコロナ禍で、思うような地域活動ができない状況が続きましたが、昨年やっと5類移行により行動制限が緩和され、地域の活動も徐々に再

開されるようになりました。私も、「地区まつり」や「まちの灯り」などのイベントのお手伝いをさせていただき、地域の皆さまと一緒に大好きな西岡のために働くことができて、とても楽しく充実した一年を過ごすことができました。

そのような中で、皆さまから寄せられる声の多くに、役員のなり手不足による町内会活動継続の難しさというものがありません。昨年4月には「札幌市未来へつなぐ町内会ささえあい条例」が施行となり、札幌市としても助

成金の増額やボランティア活動保険の加入、「持続可能な町内会を考えるシンポジウム」の開催など、さまざまな町内会支援策を実施してきました。まだまだ地域の皆さまに満足していただける内容ではないかもしれませんが、これからも町内会の維持・活性化に向けた取り組みを継続して進めていきます。

私も、微力ながら皆さまの活動のお手伝いができるばと思っておりますので、今後も引き続きご支援、ご協力をよろしくお願いたします。

ワンショット・にしおか



クリスマス前夜の電飾

広報部：2023年12月撮影

令和5年度 市長感謝状

押木 正康

(西岡二区さくら南)

町内会総務部長・会長
21年、町連理事・副会
長・会長18年、長年、町
内会、町連運営の中枢を
担い、地区全域の地域活
動の拡充発展に貢献

令和5年度 区長感謝状

天野 隆義 (協和)

町内会副会長19年、環
境美化活動、災害時要配
慮者の支援体制確立など、
町内会の発展に貢献

近藤 英逸

(西岡クローバー)

会長・町内会役員10年、
環境美化活動、防災防犯
活動、高齢者福祉活動な
ど、安心して暮らせる地
域づくりに貢献

渡部 静子

(西岡クローバー)

町内会役員23年、高齢
者見守り活動、高齢者同
士の交流機会となるサロ
ンの運営に貢献

2024令和6年 「新年交礼会」開催

1月10日(水) 西福
地区センター大ホール
で開催されました。
ご来賓、一般団体、

山口 明 (西岡さくら)

会長・町内会役員6年、
環境美化活動のほかス
クールガードとして子ど
もたちの登下校の見守り
活動を実践

山田 澄子

(西岡クローバー)

町内会において15年の
長きにわたり、子育てサ
ロン運営協力や高齢者見
守り活動などの地域福祉
活動に尽力

令和5年度 クリーンさっぽろ 衛生活動関係 市長表彰

西岡みどり町内会

長年にわたり、環境美
化運動、ごみ減量化など
のクリーンさっぽろ活動
を積極的に実践



町内会・自治会から総
勢160名が参加。今年
は二胡演奏もあり、通
常の着席での飲食懇談
で大いに盛り上がり、
新年をお祝いしました。

寒い夜を いろどるキャンドル 2024年 「西岡まちの灯り」



毎年恒例、「西岡ま
ちの灯り」が今年も1
月28日(日)に行われ
ました。その開催にあ
たり、西岡商工振興
会・西岡地区町内会連
合会・札幌大学の協力
がありました。

年末年始に福住の町
を照らしたアイスキャ
ンドルを譲り受け、札
大の会場に搬入、さら
に西岡・西岡高台児童
会館の子どもたちの手
作り紙ランタン、西岡
北中美術部の看板製作
など、その他多くの力
が結集した「まちの灯
り」は素敵な輝きいっ
ぱいでした。

わが町点描 西岡高台配水池

西岡4条8丁目にあ
るこの施設は、安定し
た飲み水を配るため
に一時的に溜めておく
ものです。災害時など
水場やポンプ場が万
一故障した場合でも、
蓄えられている水を給
水することができ
る「水の倉庫」です。

明治の末頃、月寒に
駐屯していた旧陸軍が
造った水道用水の貯水
池(現在の西岡水源
池)から取水し、「月
寒水道浄水場」となり
ました。今ではその敷
地を市が引き継いで
「配水池」として使わ
れています。





西岡地区
青少年育成委員会

晴れやかに華やかに

豊平区「はたちのつどい」が、1月7日（日）カナモトホールにて行われました。当日は大雪が降るあいにくの天候でしたが、スーツ姿・着物姿などの二十歳の若者が、久しぶりの友人との再会を喜び合っていました。この催しでは、毎年豊平区内9つの育成委員会が、総務・イベント・着付け直しなどに分かれてお手伝いをしていきます。西岡地区は受付を担当しました。ホール入口前に集まっていた多くの人は、開場時間になってもなかなか入場せず、大きな声で誘導しなければなりませんでした。それでも、入場券を手にして受付に向かう姿は、素直でかわいらしさが

登録されている西岡地区の店舗を10月から11月にかけて、育成委員が訪問します。

青少年を見守る店



満載でした。入場券を回収し集計、今年は約1100人の出席者でした。退場も入場と同様声掛けが必要でしたが、みんなニコニコ笑顔で楽しそうに帰っていききました。

福まちじろば

西岡地区社会福祉協議会
(福祉のまち推進センター)

西岡げんきランド ～「クリスマス会」の催し～

12月21日（木）、福まち事務局のサポートのもと、にしおか会館でクリスマス会が行われ、親子11組26人が参加しました。

この日は、ボランティア5人のほか、おんがくやさんのチェロ、ヴァイオリン、ピアノの演奏でにぎやかな時間を過ごしました。

最初にチェロで「ぞうさん」を弾くと、子どもたちは見たことも聴いたこともない楽器にびっくり。そして、ミッキーマウスマーチ、小さな世界、ジングルベルなどお馴染みの曲に、手やカスタネットをたたいたり、リズムに合わせてからだを揺らしながら楽しんでいました。

「あわてんぼうのサンタクロース」では、保育士さんの歌と一緒に大いに盛り上がり、最後には二人のサンタクロースが登場し、サンタさんからのプレゼントに子どもたちは大喜び。

笑顔と歓声が響くクリスマス会は、親子もスタッフも心なごむ時間でした。



町 連 通 信

町連の日常活動やこれからの行事などをお知らせします。



「西岡地ビール」大投票会開催

「西岡地ビール？」と思う人がいるでしょう。実は、西岡にはかつてサッポロビールのホップ園があったのです。特産品を作ってもっと地域を盛り上げたいと考えてい

る西岡商工振興会の有志が西岡地ビールプロジェクトを立ち上げ、11月18日（土）西福センターで地ビール投票会が行なわれました。今回は試作品ということでしたが、予想を上回る250人以上の来客があり大盛況でした。道内各地の地ビールを飲み比べ、アンケートに答えます。おいしいビールばかりでしたが、特に西岡地ビールは飲みやすく、おいしいと評判でした。おつまみには、あんかけ焼きそば、焼き鳥、おにぎりなどが用意され、子ども達も楽しめるように工夫されています。

1月28日（日）「まちの灯り」では、札大リンドンホールで完成品がお披露目されました。西岡が大いに盛り上がり、ね。

「餅つき大会」

あかしや町内会

令和5年12月9日（土）新型コロナウイルスの影響で4年中止だった恒例の餅つき大会が行なわれました。丁度その日に他の町内会のクリスマス会と重なったこともあり小中学生の参加者は少なく、19名の子ども達を中心に大人29名が参加しました。子どもたちが一生懸命杵を持ち、お母さん達が慣れた手つきで餅をこねる。子供達は自分でついた餅を丸めておいしそうに頬ばる。親子そろって満面の笑顔。あちこちで嬉しそうな笑い声。

途中であんこが足りなくなったりしましたが、子供たちが喜んでくれたことが何よりの収穫でした。

また、北斗町



ご協力ありがとうございました

令和5年度も、たくさんのご厚意を頂きました。

共同募金	628,700円
赤十字寄付金	720,240円
とよひら福祉募金	387,723円

内会の皆さんも参加され、自分達も来年はやってみたいとのこと。これからも次世代に引き継いで行きたいと思いました。

編集後記

元旦から能登の大地震、翌日には千歳発羽田着JALの羽田空港における海上保安庁機との衝突事故と正月気分を吹き飛ばす出来事が起きました。被災した方には大変な辰年の始まりとなったはずです。

「平成30年北海道胆振東部地震」を思い出されます。日本中どこでもありうることで、日頃の備えが必要だと感じます。

正月を過ぎて思う事、年賀状が極端に減ったこと。賀状だけで繋がっていた知人も多かったので、一抹の寂しさを感じます。今後は郵便料金も上がりさらに数が減るだろうと推測されます。

辰は翼をもった竜、この年は飛躍の年だと言われます。運氣も上がることを願うばかりです。良い年になりますように！

(寿)

広報誌 水源 第67号
発行 西岡地区町内会連合会
豊平区西岡4条5丁目8-11
電話 85410357
編集 広報部
印刷 北晃社齋加印刷所